

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (Water稻病虫害防止助成事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (040101000827), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名), 財務会計上の位置付け (一般会計, 普通作物振興事業), 事業期間 (単年度繰返し), 予算科目 (01, 06, 01, 03, 01, 00), 法令根拠 (茨城県西農業共済組合水稲病虫害防止事業補助金交付要綱...)

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about rice pest control and funding amounts.

Table with 2 main columns: ①手段 (担当者の活動内容) and ②対象 (誰、何を対象にしているのか). Includes sub-tables for ④活動指標 (散布面積) and ⑤対象指標 (作付面積).

Table with 2 main columns: ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) and ⑥成果指標 (1等米率). Includes a table for (3) 投入量 (事業費) の推移 with columns for 29年度, 30年度, 01年度, and 期間限定総投入量.

Table for 事業費の内訳 (Cost Breakdown) comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Includes rows for 19 負担金補助及び交付金 and a total row.

Table for (4) 当該年度の実施内容 (Implementation Content) with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of activities like 主要事業, 市長マニフェスト, etc.

事務事業名	水稲病害虫防止助成事業	事務事業No.	40101000827	所属課	農林課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- 病害虫による収穫量の減少、品質の低下が多く見られるようになり、対策が必要となったためはじめられた。
- 現在は収穫量の大きな減少も見られず、1等米比率も向上してきている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- 農薬の飛散による被害について、心配であるという声は少しはあるが寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・農業の振興を推進するにあたり、必要不可欠な事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・農業者個人で行うには負担が大きすぎるため、市の補助金を投入し、農業共済組合で一括で行うことにより効率的かつ経済的に行える。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	・綿葉枯れ対策については、農業者へ早期の耕起を促すなど被害拡大を防止できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・水稲の収量減少、品質の低下による価格の低迷が予想される。 ・農業者所得が下がる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	・類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・広域にわたり実施しているため、本市だけ減額するのは難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・市内の水稲作付地全体が対象であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・県西共済、県中央共済どちらも航空防除を円滑に行い、効果を得た。 ・県内で綿葉枯病が多発していることから農家から対策の要望が上がっており、県西共済では防除対策を拡充しH30年度は市内合計598.1haの防除を実施した。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
コスト																		
	削減	維持	増加															
成果	向上																	
	維持																	
	低下																	
イネ綿葉枯病が多発しており、現在も収束の兆しがないため、今後も関係各所と情報を密にし、防除の徹底と、生産者への稲刈り後の耕起等の対策徹底の周知を図り、より高い防除効果を目指す	(6) 事務事業優先度評価結果																	
	成果優先度評価結果 ⑦																	
	コスト削減優先度評価結果																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認